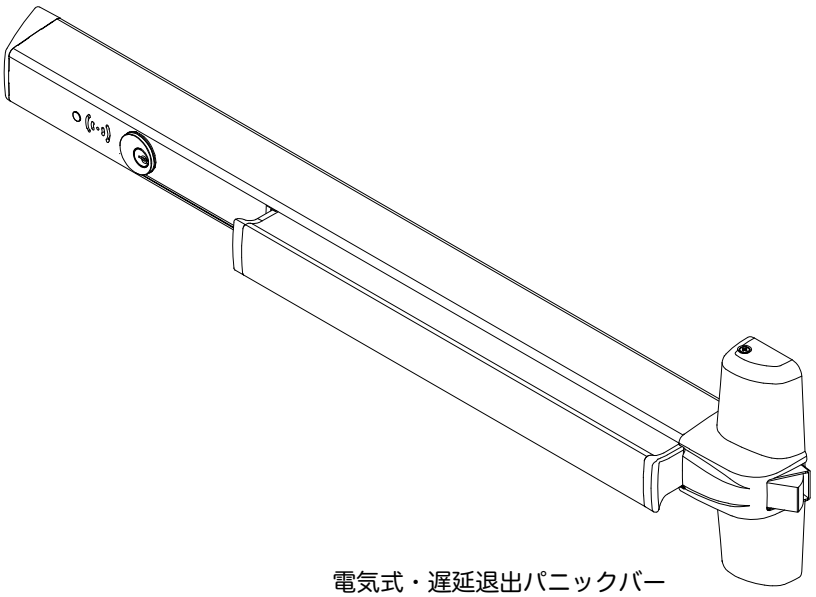
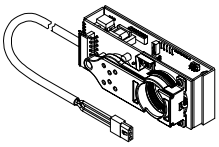
DE 電気式・遅延退出パニックバー
Delayed Egress Exit Device

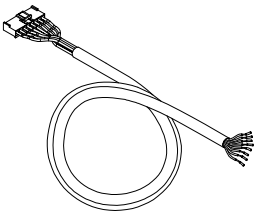
取付説明書



電気式・遅延退出パニックバー
(1100-DE を示します)



電気式・遅延退出モジュール



ケーブル

PUSH UNTIL ALARM SOUNDS
DOOR CAN BE OPENED
IN 15 SECONDS

ドアサイン(英文)
（ドアサインは段ボールの管に入っています）

プッシュバーを押し、退出を試みてから15秒間、遅延退出パニックデバイスはアラームを鳴らし、ドアは解放されず固定されます。 15秒後には、パニックデバイスは通常の状態でドアを開け、また火災警報状態になれば直ちにドアは解放されます。

仕様　SPECIFICATIONS:

電圧 Voltage 24VDC
電流 Current (遅延退出パニックバー) 0.37A
電流 Current (電気箱錠) 0.25A
電流 Current (電気トリム) 0.25A
電流 (設定時 .... 300ms 16A in-rush
外部アラーム接続 (NO 及び C) ..... 23.76~24VDC, 1A
ノーマリークローズド入力 .... 火報知設備 (FA; が必要です)
ドア ポジションスイッチ(DPS)
ノーマリークローズ入力..... .... 外部端子制御 (EI)
オプション (ノーマリーオープン入力)

NOTE: 1. 定格の仕様を超え使用しないでください。
2. DEのパニックバーは、資格のある電気技師又はその指示に従って設置する必要があります。
3.配線は、現地のすべての法規および規制に従っている必要があります。
4.取付は、十分に作業環境に注意し、有資格者の指示のもと、安全に作業する事

GOLDMAN INC.
ゴールドマン株式会社
222-0033 横浜市港北区新横浜3-7-19 3F
☎：045-620-8010　FAX：045-620-8011　✉：info@goldman-inc.jp　WEB：www.goldmanexa.com

取付に関わる関連製品

イラスト	コンポーネント	機能	リマーク
	24VDC パワーサプライ ＊	遅延退出パニックデバイスに電力を供給します	PS101/PS102 クラス 2 パワーサプライ
	電気箱錠（ケースロック）＊	電気箱錠のアプリケーションのロック装置として機能します	トリムを使う場合(電気箱錠)
	電気トリム ＊	電気トリムのアプリケーションのレバー装置として機能します	トリムを使う場合 電気トリム
	ビル内　火災報知器盤 ＊ (N.C. 接続)	火災警報の場合にDEデバイスのロックを解除します	
	通電金具 (DL-417ST を示す)	ドア枠を介してドアに電気を送ります（コンシールド型）	よく使用されているドアループ（強く推奨します）
	外部制御装置 （カードリーダー、キースイッチなど） リムと垂直ロット（ノーマリークローズ接点） 電気箱錠及び電気トリム、通電時施錠（ノーマリークローズ接点） 電気箱錠及び電気トリム、通電時解錠（ノーマリーオープン接点）	許可された入室また退出をアラームなしで通行	複数の外部制御デバイスを直列に配線します。「外部制御スイッチ」を参照してください。
	DPS ドアポジションスイッチ(ノーマリークローズ接点)	ドアが閉じてから2.5秒後にデバイスを設定します。 ドアが強制的に開けられた場合、アラームを鳴らします	使用しない場合は、赤線を緑線に接続します
	外部ホーン	デバイスの内部アラームホーンより大きな音を提供します	使用しない場合は、青と黒のワイヤーを別々に絶縁してください

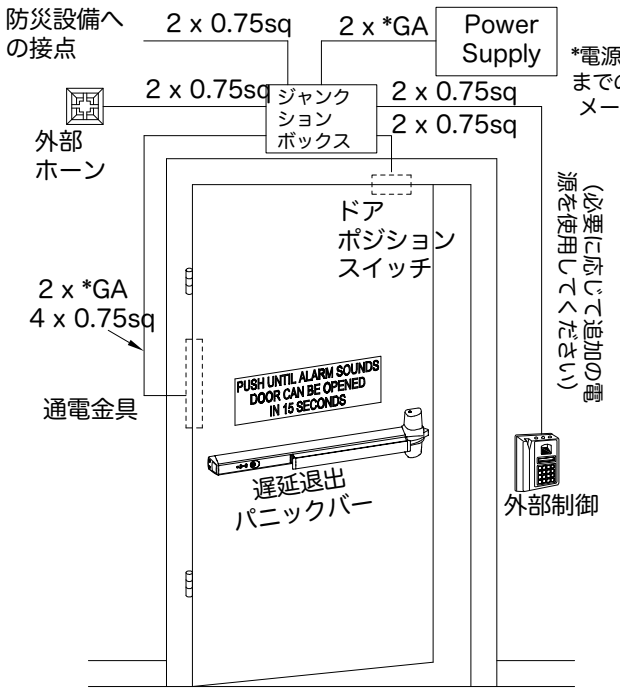
注：1.接続や点検を行う前に、必ず電源を切ってください。
　　2.（＊）が付いているコンポ＊ネントは、本製品に必要品です。

電線の機能		
ターミナル	説明	機能
赤	+24	パワーサプラ +24VDC
青	NO	コモン 24 出力： 24VDC、最大1A ノーマリーオープン出力： アラーム作動中に閉じます
灰	CM-	通信回線　; デバイスを接続します
黄	CM+	通信回線　; デバイスを接続します
橙	FA	火報盤入力　; 0 VDC　= 火災 ; 24 VDC = 非火災
緑	DPS	ドアポジションスイッチ入力; 0 VDC　= ドア開 ; 24 VDC = ドア閉
白	EI	外部制御 off 入力; 0 VDC　= デバイスは非制御 ; 24 VDC = デバイスはアクティブ 外部制御 on 入力; 0 VDC　= デバイスはアクティブ ; 24 VDC = デバイスは非制御
黒	GND	パワーサプライ　アース

パワーサプライからデバイスまでの電線の最大の長さと太さ、又サプライまで		
電線	3.5Sq (12 AWG)	2Sq(14 AWG)
メートル	60	30

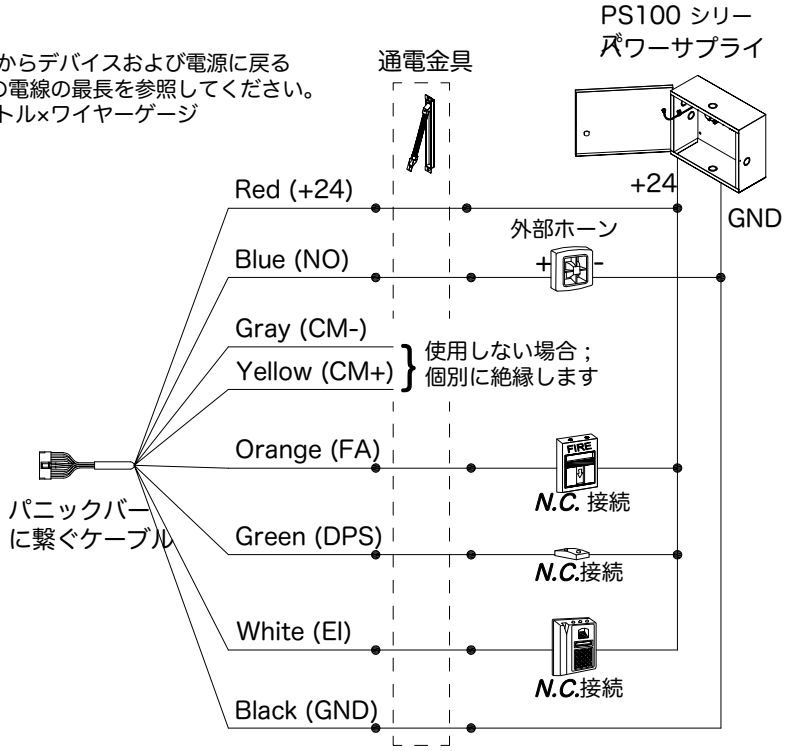
一般的な結線方法

リム/垂直ロッド - 片開きドアアプリケーション



コンポーネントの配置と配線の要件、片開きドア

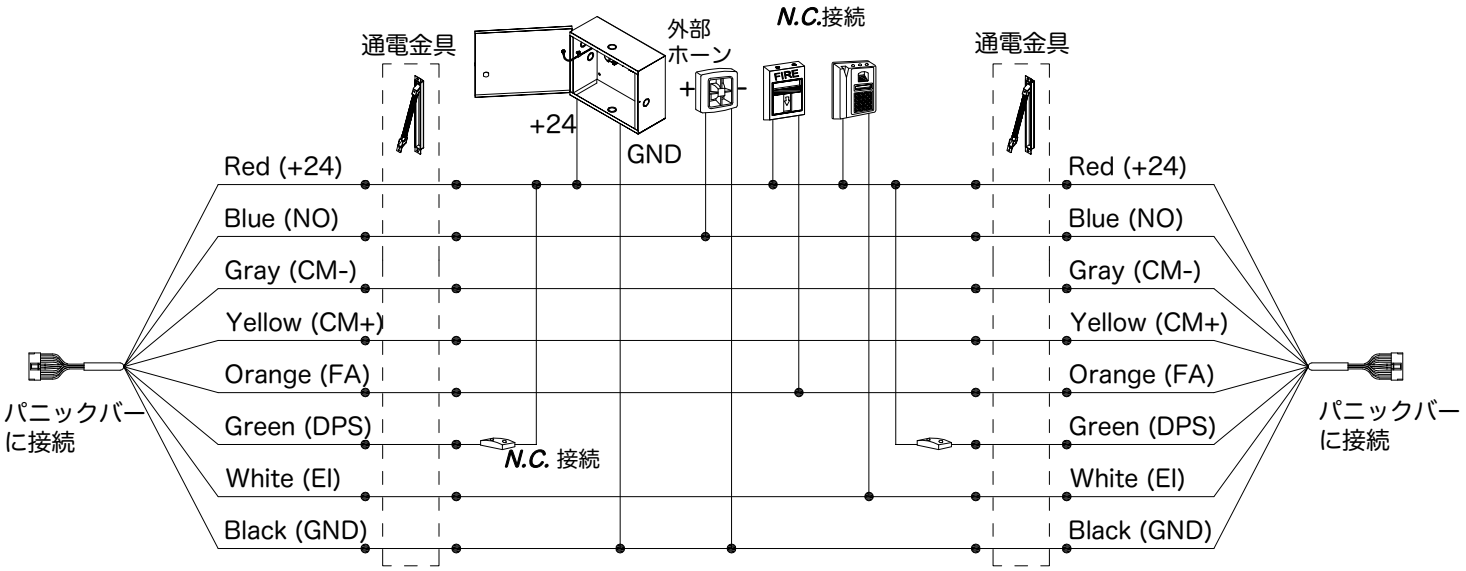
*電源からデバイスおよび電源に戻るまでの電線の最長を参照してください。メートル×ワイヤーゲージ



結線図：片開きドア

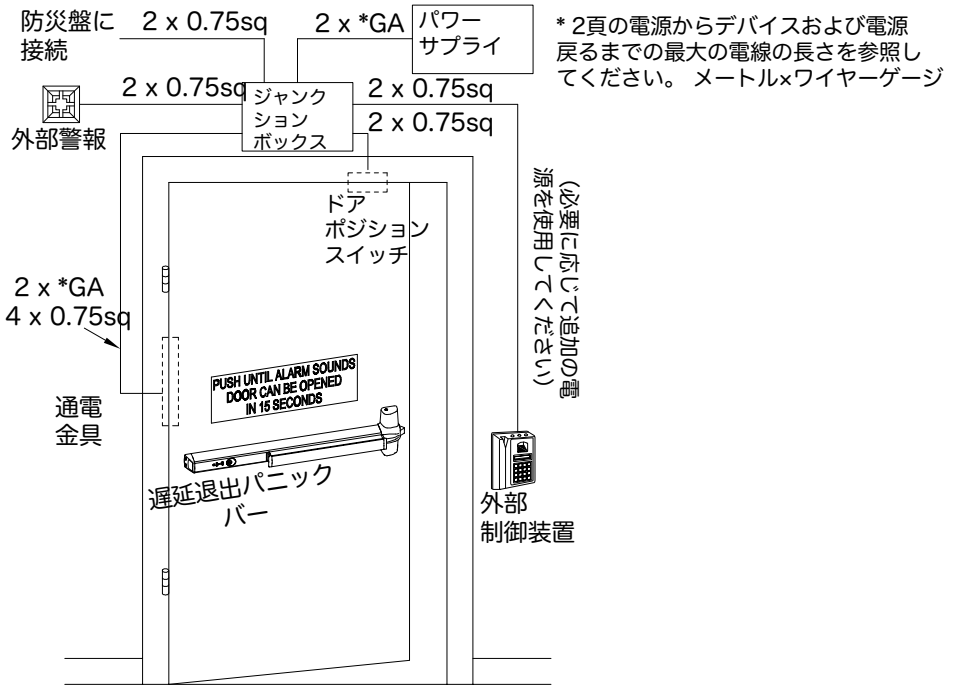
リム/垂直ロッド - 両開きドアアプリケーション

両開きドアアプリケーションの場合、両方のドアに、黄色（CM +）および灰色（CM-）ワイヤーで相互に接続されたDE(遅延退出）デバイスが取り付けられます（使用しない場合は、ワイヤーを個別に絶縁してください）。 DE（遅延退出）デバイスのアラームの1つがオフになると、もう1つもオフになり、両方のデバイスは15秒間隔の後、ロックが解除されます。 両方のドアロックは、火災警報器または外部制御によって「OFF」にすることもできます。 ドアポジションスイッチが使用されている場合、外部制御によりデバイスのアラームが解除された後、開いたドアは閉じてから2.5秒後に再稼働しますが、使用されていないドアは完全な再稼働時間の設定に応じて再稼働します。 正常に動作させるには、DE（遅延退出）デバイス間の再稼働時間が少なくとも2秒異なる必要があります。

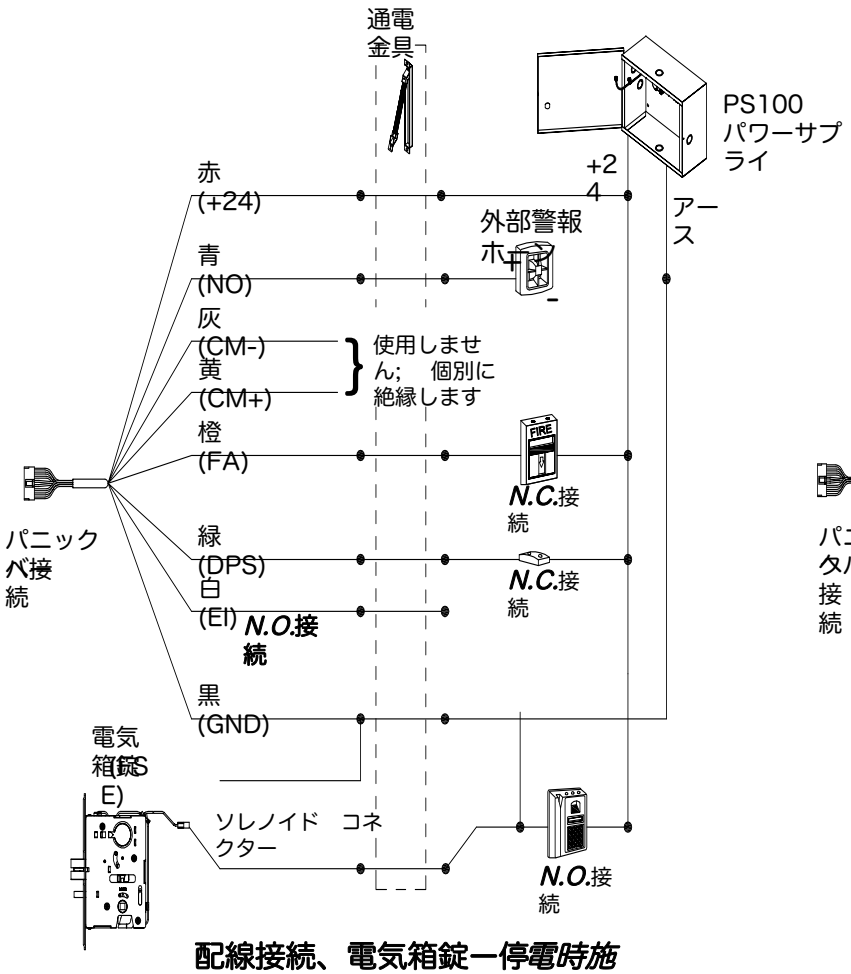


結線図：両開きドア

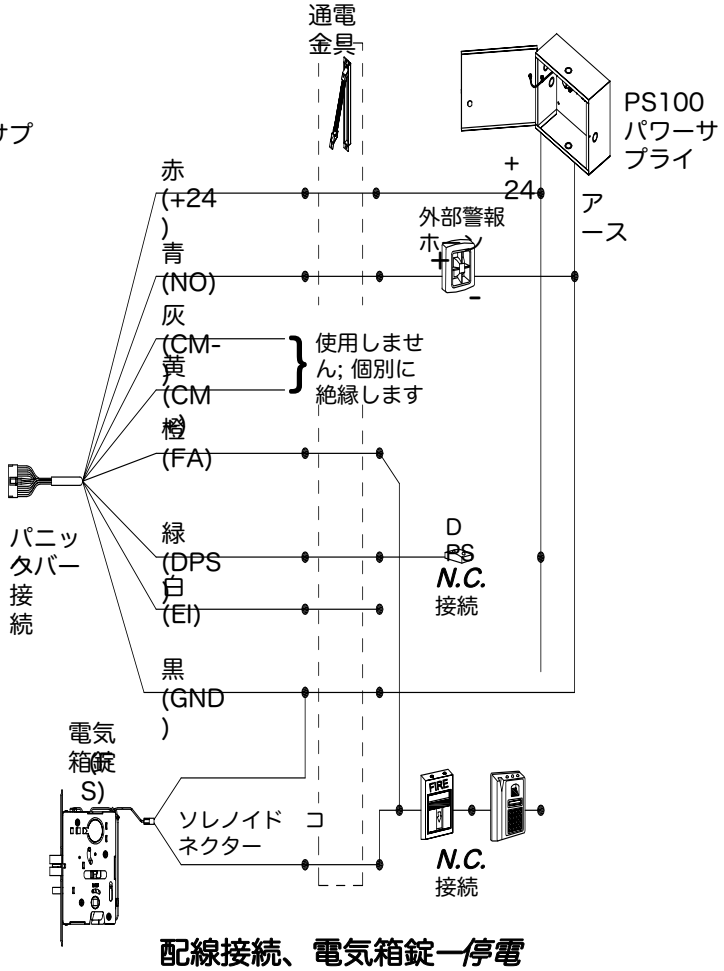
電気箱錠のアプリケーション



電気箱錠アプリケーションの
コンポーネントの配置と配線の要件

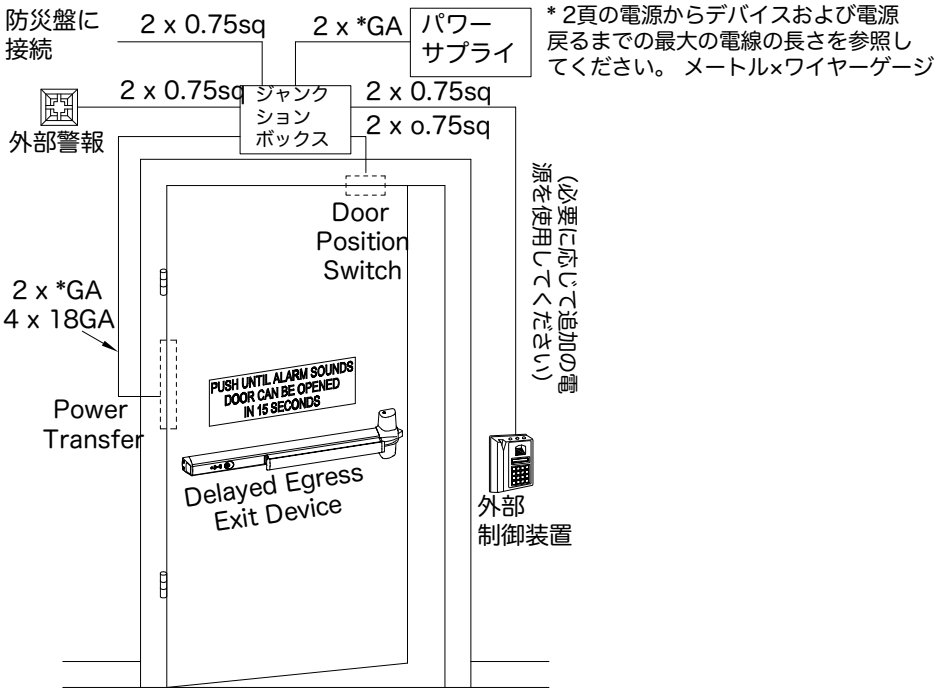


配線接続、電気箱錠一*停電時施錠型*（FSE)

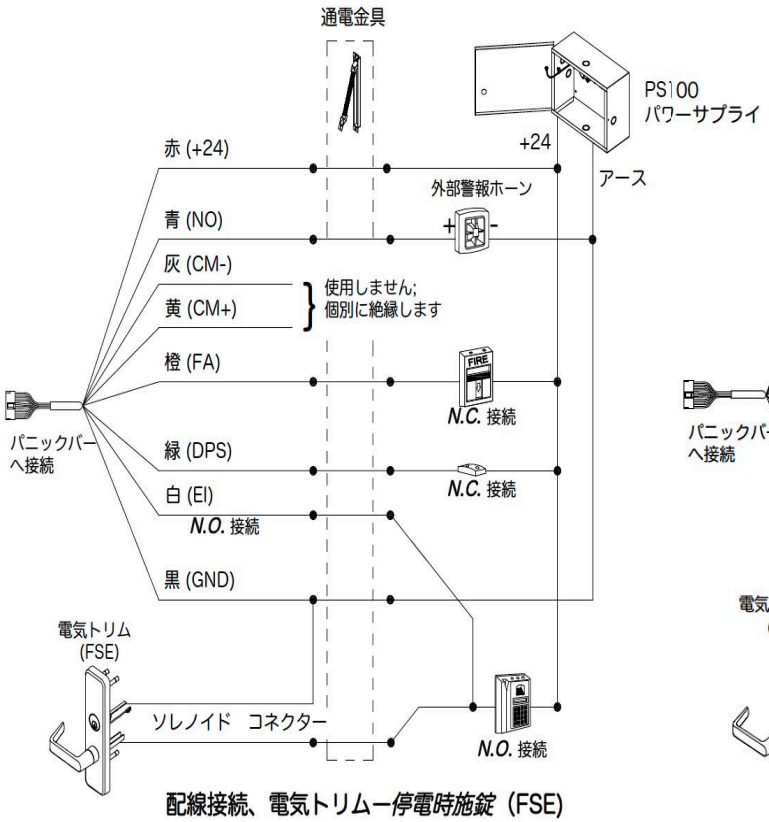


配線接続、電気箱錠一*停電時解錠型*（FS）

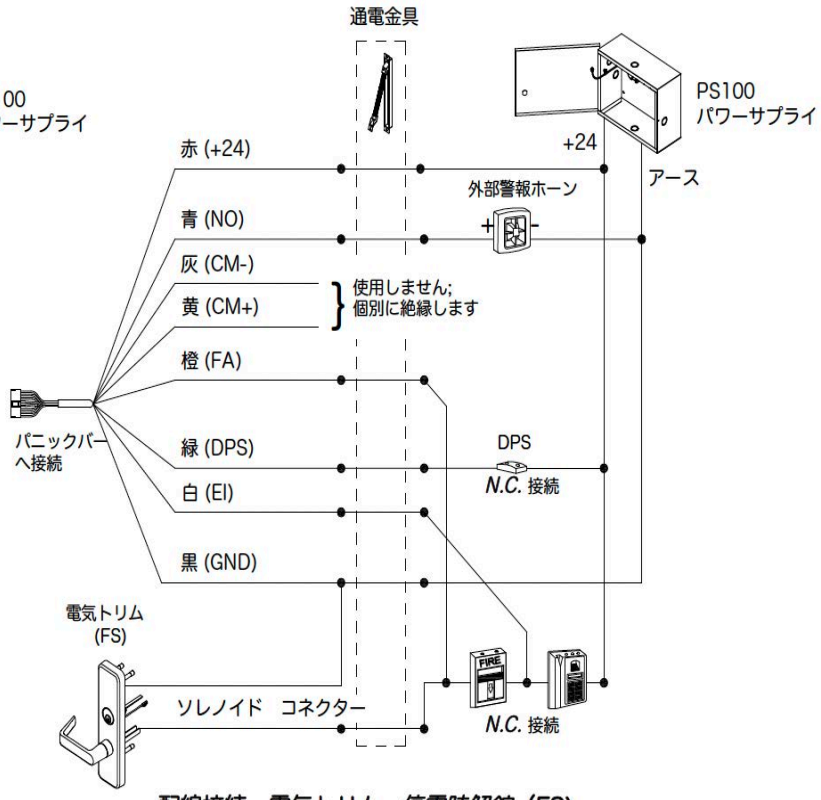
電気トリムレバーのアプリケーション



電気トリムアプリケーションの
コンポーネントの配置と配線の要件



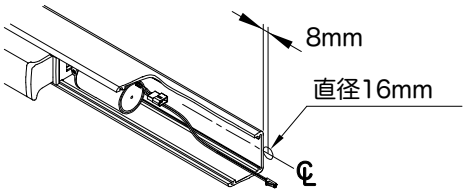
配線接続、電気トリム*ー停電時施錠*（FSE）



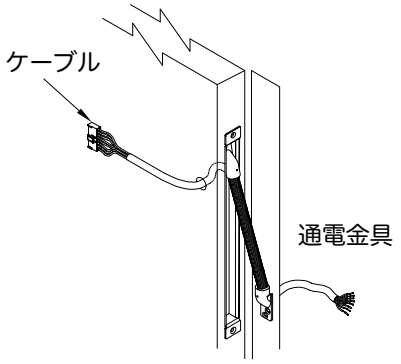
配線接続、電気トリム*ー停電時解錠*（FS）

取り付け

1 配線の完成

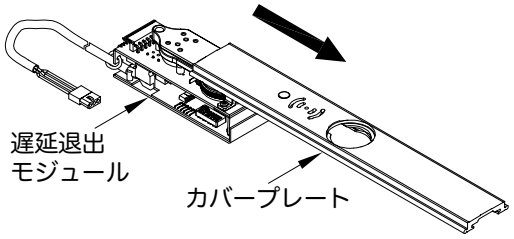


ドアのデバイス側に直径16mmの通線用の穴を開けます。

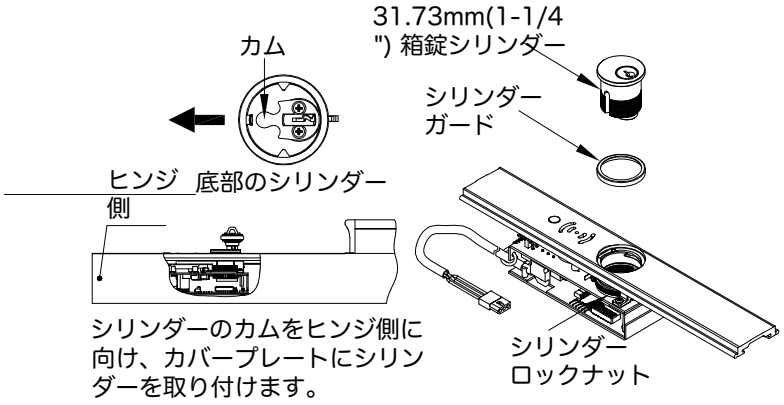


ケーブルを穴に通し、ワイヤを通電金具に接続します（必要に応じて「通電金具」の説明を参照してください）。

2 遅延退出モジュールとシリンダーの取り付け

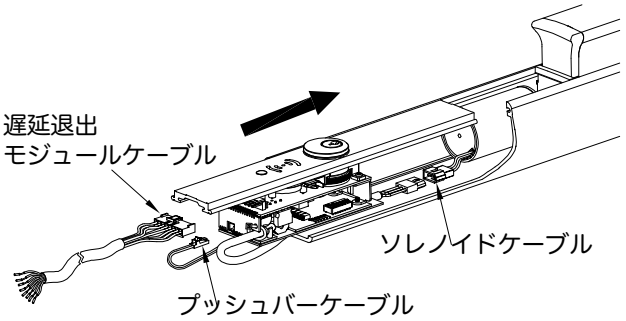


遅延退出モジュールをカバープレートに差し込みます。



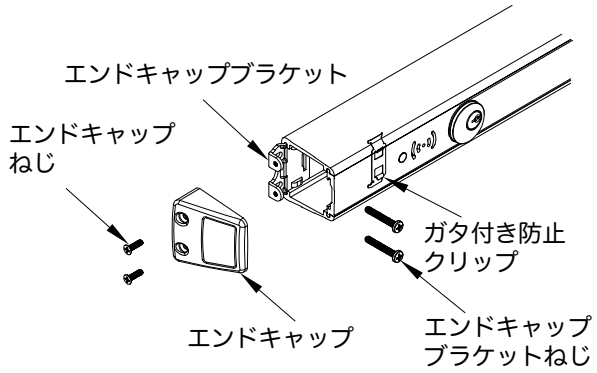
1. カバープレートにシリンダーガード付きの31.73mm(1-1 / 4 インチ)のシリンダーを箱錠に差込みます。
2. シリンダーロックナットを箱錠シリンダーにねじ込みます。
3. しっかりと締めます。

3 電線の接続



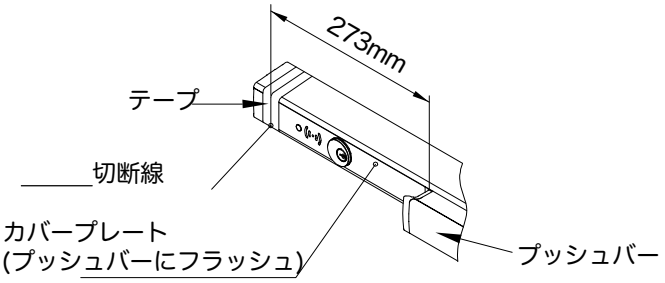
3本のケーブルの配線と接続を行いながら、カバープレートを途中までスライドさせます。カバープレートを所定の位置にゆっくりとスライドさせながら3本のケーブルを配線します。

4 取付ブラケットとエンドキャップの取り付け



すべての配線接続が行われ、デバイスの動作が確認されたら、エンドキャップブラケット、エンドキャップ、ラベルを取り付けます。
注：ドアのサインは段ボールのチューブにあります。テストとトラブルシューティングについては、「操作」に進んでください。

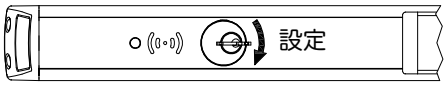
5 デバイスの切断（必要な場合）



注：プッシュバーから切断線までの長さは273mm以上である必要があります。

操作

DE(遅延退出）デバイスは、作動時にアラームを鳴らし、通過を許可する前にドアを15秒間ロックするように設計されています。 DE（遅延退出）デバイスが正常に機能することを確認するには、次の表に記載されているアクションNo.1からNo.7を実行し、製品の機能が示されている説明と一致するかどうかを確認します。 表示されない場合は、「トラブルシューティング」を参照してください。



RHR を示す
(LHR は逆)

DE(遅延退出）デバイスの作動確認：
電源を入れた状態で、キーを時計回りに回します。 LEDインジケータが10秒間点灯し、早い点滅の後、プッシュバーがロックされます。 （デフォルト操作）

遅延退出パニックバーモードの概要					
アクション	モード	プッシュバー	赤 LED	アラーム	持続時間
1.キースイッチでデバイスの電源をONに (キーは時計方向に回す)	再設定	解錠	点灯	Off	再設定時間 (0~28 秒)
2. 再稼働時間の終了	設定完了	施錠	ゆっくり点滅	Off	連続
3. プッシュパッドを押す	遅延してドア開	施錠	早い点滅	On	15 秒
4. 15秒後遅延が解除、ドア開	設定完了	解錠	早い点滅	On	連続
5. キースイッチをオフにするか、EI（外部制御）を有効にする。	Inhibit	解錠	Off	Off	キースイッチをオンにするか、外部制御をリセットすると再設定モードに戻ります
6. 火災警報接点が開く	設定	解錠	早い点滅	On (オプションスイッチNo.8がOFF)	連続 (キースイッチをオフにしてクリア)
7. ドア位置スイッチの接点が開く	設定	解錠	点灯	On	連続 (キースイッチをオフにしてクリア)

注：1.ドアポジションスイッチを使用すると、DEデバイスはドアが閉じてから2.5秒後に作動します。
2. DEデバイスのデフォルトの再設定時間は10秒です。

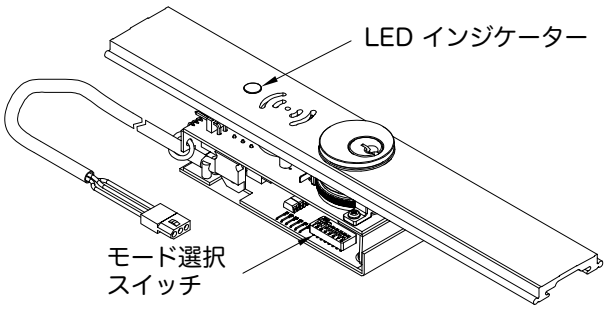
トラブルシューティング

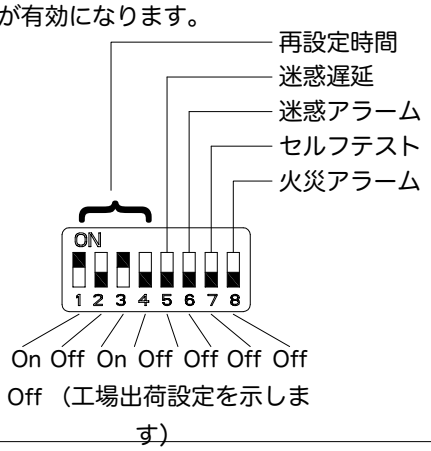
キースイッチを使用して、DEデバイスの電源を入れ直します。 次の表で発生した問題を特定し、対応する解決策を適用してください。 トラブルシューティング後、「操作」セクションの指示に従ってデバイスの機能を確認します。

モード選択スイッチ		
問題	原因	処置
赤LEDが点灯しない	DEデバイスに電源が入っていない	ACヒューズ交換/回路ブレーカーをリセットします。電源の入出力電圧を確認してください。 DEデバイスのケーブルコネクタで入力電圧を確認します
赤LEDが速く点滅し、ホーンが鳴る	火災警報接点が開いている	赤とオレンジのワイヤーの間にN.O.接点で火報設備に接続します
赤LEDが1回点滅	外部制御スイッチ設定エラー	赤と白のワイヤー間の外部制御スイッチと接点を確認してください
赤LEDが点灯した後、速く点滅し、ホーンが鳴る	1. プッシュバーが押されている 2. プッシュバースイッチが外れている	1. プッシュバーを解放します 2. プッシュバースイッチのコネクタを接続します（「取り付け」の手順6を参照）。
赤LEDが点灯し、ホーン音が鳴り、ソレノイドが1秒間引き込まれます（2回の鋭い音）	1. ドア開 2. ドアポジションスイッチの接点開ドアポジションの機能が未使 3. 用、配線が正しく結線されていません	1. ドアを閉めます 2. N.C.の ドアポジションスイッチの接点を赤と緑のワイヤーの間に接続します 3. ドア位置スイッチを使用しない場合は、赤と白緑を一緒に接続してください

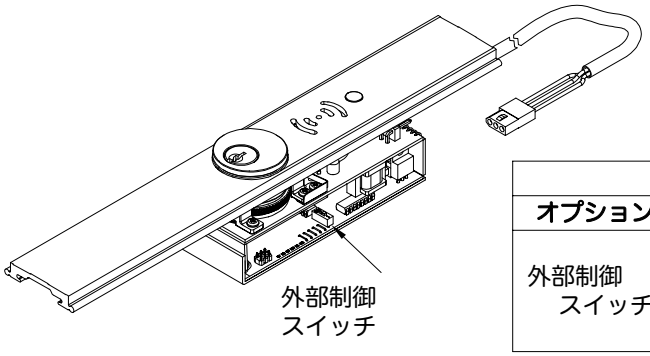
オプション

再設定時間の設定は、遅延退出(DE)モジュール内のスイッチを介して行うことができます。 設定する前に、DEデバイスの電源を切ります。 DEデバイスの電源を入れると、変更が有効になります。





モード選択スイッチ	
オプション	**機能**
再設定時間	スイッチNo.1からNo.4は、キーまたは外部制御デバイスを使用した後、通過可能な時間を決定します（詳細は下の表を参照）
迷惑遅延	スイッチのNo.5がオンの場合、アラームをアクティブにするには、プッシュバーを2秒以上押し続ける必要があります。
迷惑アラーム	スイッチNo.6がオンの場合、迷惑な遅延中にプッシュバーがDEデバイスのホーンを起動します。 使用方法は、現地の規定に従う必要があります。
セルフテスト	スイッチNo.7がオンの場合、デバイスの電源がオンになったときにセルフテストが実行されます。 通常の操作では、このスイッチをオフの位置に設定します。
火災アラーム	スイッチNo. 8がオンの場合、火災警報時に内部ホーンがオフになります。



Off
（工場出荷設定を示します）

外部制御スイッチ	
オプション	**Function**
外部制御スイッチ	スイッチがオンの場合、外部制御は N.O. 接点で設定する必要があります。
	スイッチがオフの場合、N.C. 接点で外部制御を設定する必要があります。

再設定時間のスイッチの設定																
秒数	0	2	4	6	8	10	12	14	16	18	20	22	24	26	28	無限
Switch No. 1	off	on	off	on	off	on	off	on	off	on	off	on	off	on	off	on
Switch No. 2	off	off	on	on	off	off	on	on	off	off	on	on	off	off	on	on
Switch No. 3	off	off	off	off	on	on	on	on	off	off	off	off	on	on	on	on
Switch No. 4	off	off	off	off	off	off	off	off	on	on	on	on	on	on	on	on

注：1.ドアの開閉に必要な時間よりも数秒長い再設定時間を設定して、ドアが閉じた後にDEデバイスが常に作動するようにします。
2.再設定時間が無限の場合、再設定を行うには、ドアポジションスイッチとともにデバイスを印加する必要があります。
3.再設定時間が無限大の場合、デバイスの電源を入れた後、ドアを一度開閉する必要があります。そうしないと、ドアがアクティブになりません。
4.ドアポジションスイッチが使用されている場合、DEデバイスの初期の再設定時間の設定は、2.5秒間隔に切り替わります。
5.正常に動作させるには、DEデバイス間の再設定時間が少なくとも2秒異なる必要があります。